

平成 29 年度 「コミュニケーション英語Ⅱ」 シラバス

校長		教頭		
----	--	----	--	--

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学科	国際経済科	単位数	4
使用教科書		教育出版 New One World Communication II					

(1) 目標

- 英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
- 英語を通して、多様なものの見方や考え方を理解し、自国のこと、諸外国のことを知り、広い視野から国際理解を深める。

(2) 言語活動

- ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
- ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。
- エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。

(3) 指導事項

- ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。
- イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。
- ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。
- エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。

(4) 授業の内容と学習方法

授業の内容は、コミュニケーション英語Ⅰで学習した、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を使って、英語で情報を受け、発することを更に伸ばす内容・構成である。題材の選択については、生徒が身近に感じ、かつ知的好奇心を満足させる内容のものや、生徒に考えさせる深みのある内容のものが中心である。また、題材内容を一方的に与えるだけでなく、生徒自信の意見を引き出したり、クラスメートに意見を聞いたりする活動を設けるなど、4技能を有機的に関連されている。

(5) 履修上の留意点

英語は言語であり、人と人とのコミュニケーションを図る手段である。人々とコミュニケーションを図るには、英語を通じて理解し、知識や見聞を広めると同時に、自分の考えや意見を表現し、発信することが大切になる。そのためには、日頃から相手の話をよく聞き、自分の考えを述べる習慣をつけ、また、積極的に異文化にふれることを心がけるとよい。授業では、積極的にペアワークやグループワークに参加し、他者と協力して行動していく姿勢が大切である。

(6) 授業計画

学期	月	時間	単元	学習内容	ⒶⒷⒸⒹ	評価方法
1 学期	4 月	12	Lesson 1 Ambassador of World Peace	(題材) 日本人にとってサクラはどのような意味を持つのか、歴史や地域性、開花条件なども踏まえながら理解する。 (活動) サクラを通して、日本の文化や習慣風習を確認し、概要や要点をとらえたりする。	○○○○	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充、英文解釈など)において、知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。
	5 月	12	Lesson 2 Dogs as Human Companions	(題材) 古代から現代までのイヌと人間との関係を知り、今後のより良い関係を理解する。 (活動) ペットなど興味や関心のある事柄について、友だちと積極的に話し合ったり意見の交換をしたりする。	○○○○	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充、英文解釈など)において、知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。

	6月	12	Lesson 3 The Culture of Bowling	(題材) 日本人にとってのおじぎの意味に気づくとともに、外国人が行うおじぎとの違いを理解する。 (活動) さまざまな事実や意見を理解したり、区別したりしながら、聞いたり話したりする。	〇〇〇〇	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充, 英文解釈など)において, 知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。
	7月	12	Lesson 4 The Floating Islands of Lake Titicaca	(題材) チチカカ湖で暮らす人々の生活を知るとともに、今、湖の周辺で起こっている環境問題についても理解する。 (活動) 情報や考えなどを理解しながら、問題点などを討論したり、話し合った内容をまとめたりする。	〇〇〇〇	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充, 英文解釈など)において, 知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。
	9月	12	Reading 1 True Love	(題材) 物語を読んで、内容を理解するとともに、登場人物たちの心の動きを理解する。 (活動) 物語を音声的な特徴やスピード、声の大きさなどに注意しながら音読したり、概要や要点などを簡潔に書いたりする。	〇〇〇〇	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充, 英文解釈など)において, 知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。
	10月	12	Lesson 5 Optical Illusion	(題材) 目の錯覚で起こる現象や事柄を知り、それが世の中では、どのように応用されているか理解する。 (活動) 説明を読んで、情報を理解するとともに、積極的に知り得た情報を友だちと話し合ったりする。	〇〇〇〇	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充, 英文解釈など)において, 知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。
	10月 11月	4	Lesson 6 English Textbooks from Around the World	(題材) 世界のさまざまな国や地域の英語の教科書を読み、日本のものとの違いを理解する。 (活動) 異文化を踏まえて、読んだ内容について理解し、概要や要点をまとまりのある文章として書く。	〇〇〇〇	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充, 英文解釈など)において, 知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。
2 学期	11月	12	Lesson 7 The Hayabusa Project	(題材) 「はやぶさ」プロジェクトについて知り、成功するまでのさまざまな問題点や、その成果が意味するものを理解する。 (活動) 読んで得た情報や考えなどについて、聞き手に適切に伝わるように話す。	〇〇〇〇	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充, 英文解釈など)において, 知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。
	12月	12	Lesson 8 The Origin of Santa Claus	(題材) サンタクロースに関する起源やさまざまな出来事を知り、サンタクロースが意味するものを理解する。 (活動) 読んだ内容を相手に効果的に伝わるように適切に話したり書いたりする。	〇〇〇〇	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充, 英文解釈など)において, 知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。
3 学期	1月	12	Lesson 9 The Only Japanese on the Titanic	(題材) タイタニック号の悲劇を知り、乗船していた日本人への評価とその人の生き方を理解する。 (活動) あるテーマについてグループで積極的に討論し、結論をまとめて発表する。	〇〇〇〇	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充, 英文解釈など)において, 知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。
	2月 3月	12	Lesson 10 Agroforestry	(題材) 従来のプランテーションによる農法の問題点を知り、アグロフォレストリーの良い点と課題について理解する。 (活動) 未知の語の意味を推測しながら、内容を理解できるように精読する。	〇〇〇〇	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充, 英文解釈など)において, 知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。
	3月	12	Reading 2 The Doughnuts	(題材) 物語について、登場人物の性格や話の面白さを理解する。 (活動) 読み取ったことを聞き手に伝わるように話したり、まとめて書いたりする。	〇〇〇〇	・話す・聞くといった言語活動を観察する。 ・筆記テスト(空所補充, 英文解釈など)において, 知識が身についているかを判断する。 ・左項の活動ができているかチェックする。

◎ 評価の観点・方法

評価は、授業でのコミュニケーション活動への態度、ワークシートなどの提出物の内容、中間・期末の定期考査の成績、出席状況などを勘案して行う。各学期の成績を総合して年度末の学習成績とし、基準に到達すれば単位認定する。評価の観点は以下の通り。

評価の観点及び内容		評価方法
㊦コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	・コミュニケーション活動への参加態度 ・発表の内容 ・ワークシートの提出頻度と内容
㊧外国語表現の能力	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えているか。	・定期考査の成績 ・コミュニケーション活動の内容 ・発表の内容 ・ワークシートの提出頻度と内容
㊨外国語理解の能力	・英語を聞いたり読んだりして、その概要や要点をとらえ、情報や考えなどを的確に理解しているか。	・定期考査の成績 ・ワークシートの提出頻度と内容
㊩言語や文化についての知識・理解	・英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解しているか。	・定期考査の成績 ・発表の内容 ・ワークシートの提出頻度と内容